

# 国際政治

132

## 国際関係の制度化

日本国際政治学会編

序章 国際関係の制度化	田 所 昌 幸
主権国家システムの規範と変容	岡 垣 知 子
レジームと消極的アクター	宮 脇 昇
ヘテラーキカル・ソサエティ	三 浦 聡
グローバリゼーションと中国の制度化	三 船 恵 美
国際制度と集団正当化	多 湖 淳
EU理事会における加重票の再配分	池 田 佳 隆
国際システムにおける「制度」の役割の関する経済学的分析	藤 本 茂
緩やかな協議体における議長国制度の意義	鈴 木 早 苗
<hr/>	
冷戦後の北朝鮮の対韓国政策	金 栄 鎬
<hr/>	
<書 評>	
野田四郎著 『独立と連邦主義の狭間（1970～1980年） ——ケベックの国際関係の際立った10年』	立 川 京 一
大沼保昭著 『人権、国家、文明 ——普遍主義的人権観から文際的人権観へ』	大 泉 敬 子
総合研究開発機構（NIRA）・横田洋三共編 『アフリカの国内紛争と予防外交』	佐 藤 丙 午

2003年2月刊